

発行：愛知県社会保障推進協議会

TEL:052-889-6921 FAX:052-889-6931

E-mail : syahokyo@airoren.gr.jp

ホームページ <http://syahokyo.airoren.gr.jp/>

寒さにもコロナにも負けない!いのち署名・敬老パス等共感広がる



2021年最初の署名行動は、1月13日 八事・興正寺 宣伝行動 22人参加 4署名合計74筆 (いのち 27筆、敬老パス 36筆、介護 4筆、病院 7筆)。22人の参加者が順次訴えました。

興正寺の縁日に参拝の皆さんが、訴えを聞き、「コロナ禍で医師や看護師さんは大変です頑張ってください」と激励や励ましが寄せられました。

敬老パス、「上限設定など、誰が決めたの。知らなかった」と、通り過ぎた方が署名をするために、戻ってご協力くださいました。



この日は、自治労連の署名はがき付きチラシの受け取りが好調。コロナ禍で、医療や介護、感染やくらしに対する不安が広がり、何とかしたいと積極的な署名協力が、特徴的でした。

各地で好評、いのち署名。地方議会の意見書採択は146。国会でも評判で、紹介議員の約束が、衆議院議員62、参議院議員は36計98人と賛同議員が4人と注目を集めています。はがき署名付きチラシも用意され、行動し訴えて、世論を盛り上げましょう。

名古屋の市民病院を守る署名、第1弾を2月3日に提出
 市民に知らせず、議会主導で進行する市政が問われます！



市民病院の機能を守り継続させるために、市民の声を届け続ける運動の強化がますます重要です。市長選挙の中でも世論を味方する訴え、続けましょう！

速報 2月16日名古屋市は、

名古屋市立緑市民病院(現在、指定管理者運営)を令和5年(2023年)4月から「名古屋市立大学附属病院」へ経営移行を『名古屋南部地域医療連携推進協議会』全体会議で表明し、確認(了承を得る)しました！

現在、名古屋市立2病院を4月から「名古屋市立大学附属病院」へと運営移行が強行決定され、その準備が進められている中、「名古屋の公的医療を守る市民の会」を結成し、コロナ禍に於ける経営移行は延期することを求めて署名運動等を推進しています！ そんな中、名古屋市立緑市民病院は、制定管理者(医療法人「純正会」一名古屋市緑区、許可病床300床)に経営を委ね、2022年3月までの契約期間を当面1年延長する方向で、昨年1月から「緑市民病院のあり方を考える有識者懇談会」が開催(非公開)され検討されてきました。

名古屋市のHPでは、第2回懇談会を2月19日に開催の案内が一旦表示されるも、現在は削除され、この件に関する情報が、市民からは一切わからない状態にされています！

こうした状況の中で、2月16日開催された第2回『名古屋南部地域医療連携推進協議会』(この件の説明・承認だけを議題としていた)が開催され、大原名古屋市病院局・局長が「名古屋市立緑市民病院の今後の計画について」と題して報告しました。*会議の詳細は、明らかにされていません！

名古屋市立緑市民病院のあり方について(案)

緑市民病院のあり方について、地域密着型の医療を充実するとともに、地域で増加が見込まれる高齢者特有の疾患を有する患者に対応した質の高い医療を提供する必要があることから、方向性を以下の通りとしました。

1 病床数・病床機能

205床(急性期100床 回復期105床)

2 運営・経営

名古屋市立大学

3 時期

令和5年4月(予定)

4 主たる医療機能

○ 地域医療の充実

- ・在宅や介護施設への復帰支援のための地域包括ケア病棟の運営
- ・在宅医療等の地域医療支援の充実
- ・地域のニーズを踏まえた二次救急への対応
- ・感染症患者への対応

○ 先駆的な高齢者医療の提供

- ・高齢者特有の疾患等を有する患者に対して、地域の医療機関と連携しながら全人的・包括的な診療を実施

○ 健康長寿に資する取組み

- ・都市部における健康長寿に資する予防・治療モデルの構築・検証

○ 高齢者医療・介護を支える人材育成

- ・なごやかモデルの実績活用等による、高齢者医療・介護に関わる総合的な人材の育成

コロナ禍でも、1月2月は会議や行動が目白押し。

2月3日中央社保協代表者会議や2月13日国保・介護緊急学習集会、や国会署名提出行動。さらに、介護保険8期計画や介護報酬改定や国保等々へのパブコメも集中しました。



2月18日 東別院マルシェ署名宣伝

10名の参加し市民病院署名9筆、いのち署名10筆を集約。雪の降る寒さ厳しい中、足を止め署名にご協力いただき感謝感謝!お疲れ様でした!

2月3日 中央社保協代表者会議

Web参加で澤田、渡邊、小松の3名が代表参加。全国のたたかいを学びました。

2月13日国保介護緊急学習集会

Web開催に、介護学習には7人が、国保学習には8人が参加しました。中央代表者会議の補強として、緊急に開催されましたが、資料等はすべて中央社保協ホームページにアップされています。ご参照ください。



2・20第6弾コロナ災害を乗り越えるいのちと暮らしを守るなんでも電話相談会

朝10時~20時まで開催。朝マスコミ各社の取材が入り、その後寄せられた相談件数82件、相談員は30人が参加しました。内容は、深刻さを増しています。

- 労働・雇用関係=21件
 - 生活(保護含む)=34件
 - 持続化給付金・緊急小口など給付金関係=11件
 - ワクチンへの不安=10件
 - その他=6件
- 引き続き、支援強化が求められています。

